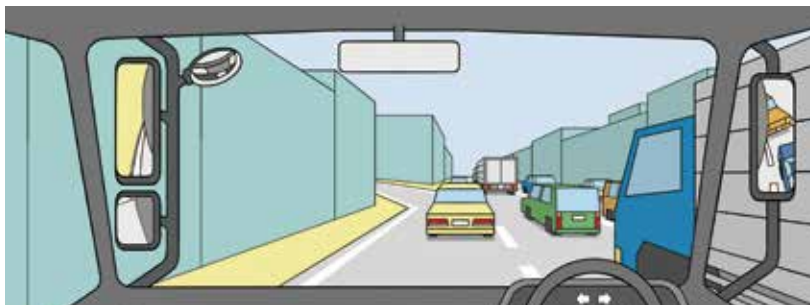


心に潜む危険「焦りの気持ち」

事故を未然に防ぐためには、運転中に遭遇するさまざまな交通状況において、危険を予知し、的確に回避することが必要です。予測される危険や、それを避けるための運転について考えてください。



交通状況

- ・あなたは午後5時頃、配送に向かっています。
- ・夕方道路が渋滞中、いつも通る片側2車線道路を直進しています。
- ・そのまま渋滞が続けば、納品時刻に遅れるかもしれません。
- ・ナビの地図を見ると、左側方に生活道路の抜け道があります。

Q どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？

このような危険が！

- A**
- ・納品時刻を意識するあまり、抜け道の生活道路を急いで通行すると、歩行者や自転車との事故に遭遇する可能性が高まります。また生活道路は幅員が狭く、大きなトラックの通行には不適です。
 - ・道路に人や車の往来が増える夕方は、事故が多発する時間帯です。
 - ・焦りやイライラがあると、“危険かもしれない”とわかっていても、早く目的地に到着するメリットを優先し、安全をないがしろにしてしまうことがあります。



このような運転を！

- A**
- ・時間に余裕を持ち、焦らないような運行計画を立てましょう。
 - ・予期しない渋滞などで到着時刻がわからなくなった場合でも、安全を最優先！安全な場所に停車して、納品先に事情を連絡しましょう。
 - ・感情に要因がある事故の防止に向けて、焦っている自分を客観的に見て、心と行動をコントロールできるようにする訓練(感情コントロール教育プログラム)も有効です。